

株主通信

第62期中間 2020年4月1日から2020年9月30日まで

 **セブン工業株式会社**

(証券コード：7896)

ごあいさつ



株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第62期第2四半期は、新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の停滞、事業活動の制限等、極めて厳しい経営環境のなか、受注の確保、徹底した経費削減に努めて参りました。然しながら、市況の悪化等の影響は大きく、計画数字は達成したものの、前年同期比、減収減益の結果となりました。

今後も厳しい情勢が続くものと予測されますが、経営課題である非住宅向け商品の開発・拡販、省施工製品の拡充などの施策を進めると共に、更なる経費削減、生産性向上を推進し、逆境に耐え得る体制構築、収益力の向上に傾注して参ります。

株主の皆様には、今後共、変わらぬご指導とご支援をお願い申し上げます。

代表取締役社長 木下浩一

経営成績

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に甚大な影響を及ぼし景気は急速に悪化しました。緊急事態宣言の解除後は、経済活動再開の広がりが見られるようになりましたが、未だ感染の終息時期が見通せず、依然として極めて厳しい経済環境が続いております。

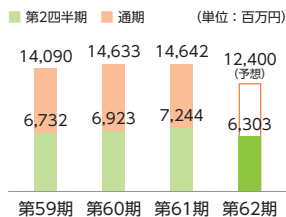
当住宅関連業界につきましても、消費税増税の駆け込み需要の反動減及び新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済活動の停滞及び消費マインドの低下等により新設住宅着工戸数は減少し、市況は悪化を辿ってきました。

こうしたなか、まずは、この逆境に備える体制構築を図り、足元を固めていくと同時に、経営課題である非住宅向け商品の開発・拡販、省施工製品の拡充などの施策を進めております。また、コロナ禍を受け、従業員の安全、健康を最優先に取り組み、ITを活用した働き方改革の推進に努めております。

経済活動が停滞し、かつ事業活動に制限があるなか、経営課題として掲げた諸施策を推進し、受注の確保に努めてきたものの、売上高の減少が避けられず、特に内装建材事業において和風造作材や階段を中心に受注が大幅

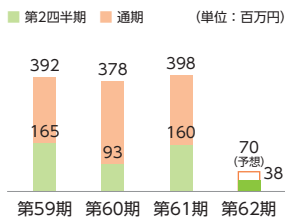
売上高

63億3百万円 (前年同期比13.0%減)



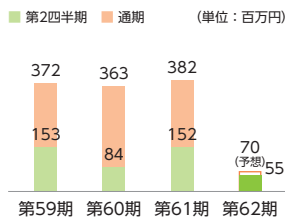
営業利益

38百万円 (前年同期比76.0%減)



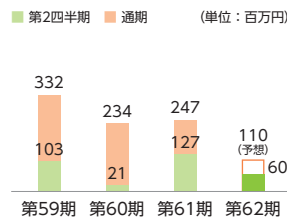
経常利益

55百万円 (前年同期比63.9%減)



当期(四半期)純利益

60百万円 (前年同期比53.1%減)



に減少するなど非常に厳しい事業運営となりました。一方、木構造建材事業については、非住宅分野への展開等におけるプレカット・パネル・建築事業が一体となった事業運営が奏功したこともあり、こうした時勢においても比較的安定した業況で推移いたしました。

両事業部門とも、逆境下のなか受注状況に応じた柔軟な生産体制のもと徹底した経費削減、合理化を推進し、売上高減少に耐え得る体制構築と収益力の向上を図ってまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は、63億3百万円と前年同四半期と比較し、9億40百万円（△13.0%）の減収となりました。利益面では、営業利益38百万円と前年同四半期と比較し、1億21百万円（△76.0%）の減益、経常利益は55百万円と前年同四半期と比較し、97百万円（△63.9%）の減益となりました。また、四半期純利益は60百万円と前年同四半期と比較し、67百万円（△53.1%）の減益となりました。

中間配当金につきましては、第2四半期累計期間の業績及び財務状況等を勘案し、1株につき20円とさせていただきます。

通期の見通し

今後の経済の見通しについては、新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化すると予測され、景気回復の道筋が見通せないなか、我々が属する住宅関連業界におきましても、当面厳しい事業環境が続くものと思われます。

こうした状況下、非住宅分野への経営資源の投入や省施工商品の拡充、国産材の活用などの経営課題を進めると同時に新規顧客の開拓に努め、受注の確保と収益性の改善を進めてまいります。

内装建材事業におきましては、施工性、デザイン性、機能性をキーワードに、近時に販売を開始した収納階段（S+ Stock）など当社独自の強みを発揮できる高付加価値製品の展開と既存商品のリニューアルによる商品力の向上に努めます。住宅市場の更なる悪化が予測されるなか、非住宅分野への積極的なアプローチを行い顧客ニーズに対するきめ細やかな対応力を高めるとともに徹底した経

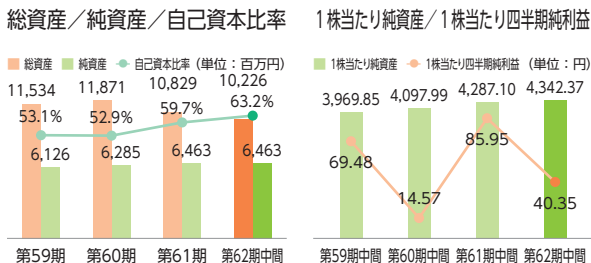
費削減を推進し利益確保に努めてまいります。

木構造建材事業においては、プレカット・パネル・建築事業のそれぞれの事業特性の融合による事業展開が奏功していることから、こうしたシナジーを追求する事業展開の加速化を図ります。戸建住宅の需要減少が予測されるなか、営業戦略を多角化し、新規開拓営業を強化するとともに、あらゆる加工に対応できる生産体制の強みを活かし、非住宅を中心とした建築事業の拡大や他社との連携等を通じた更なる非住宅分野の需要開拓を図ります。

両事業部門とも、こうした施策に加え、経営資源の共有化やRPAといった新技術の活用による省力化、また、受注状況に応じた柔軟な体制のもと徹底した経費削減と効率的な事業運営を進めてまいります。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今後も厳しい局面が見込まれ、市況の悪化のみならず混沌とした市場環境のなか価格競争の激化等が予想されることから、当事業年度の業績に関しては減収減益となる見通しであります。

2021年3月期通期の業績予想につきましては、2020年7月31日に公表しました予想から変更はありません。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。第59期事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産及び1株当たり四半期純利益を算定しております。

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第60期事業年度の期首から適用しており、第59期の財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

第2四半期決算

詳細は [セブン工業 I R 情報](#) [検索](#)

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

| 科 目 | 当第2四半期会計期間 (2020年9月30日) | 前事業年度 (2020年3月31日) |
|------------------|----------------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 5,829 | 6,335 |
| 固定資産 | 4,396 | 4,494 |
| 有形固定資産 | 4,057 | 4,075 |
| 無形固定資産 | 90 | 105 |
| 投資その他の資産 | 248 | 313 |
| 資産合計 | 10,226 | 10,829 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 2,844 | 3,245 |
| 固定負債 | 918 | 1,120 |
| 負債合計 | 3,762 | 4,366 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 6,464 | 6,464 |
| 資本金 | 2,473 | 2,473 |
| 資本剰余金 | 2,675 | 2,675 |
| 利益剰余金 | 1,559 | 1,559 |
| 自己株式 | △243 | △243 |
| 評価・換算差額等 | △1 | △1 |
| その他有価証券評価差額金 | △1 | △1 |
| 純資産合計 | 6,463 | 6,463 |
| 負債及び純資産合計 | 10,226 | 10,829 |

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期損益計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 当第2四半期累計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで) | 前第2四半期累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで) |
|---------------|---|---|
| 売上高 | 6,303 | 7,244 |
| 売上原価 | 5,302 | 6,058 |
| 売上総利益 | 1,001 | 1,186 |
| 販売費及び一般管理費 | 962 | 1,026 |
| 営業利益 | 38 | 160 |
| 営業外収益 | 25 | 2 |
| 営業外費用 | 8 | 10 |
| 経常利益 | 55 | 152 |
| 特別利益 | 3 | 13 |
| 特別損失 | 0 | 5 |
| 税引前四半期純利益 | 58 | 160 |
| 法人税等 | 7 | 21 |
| 法人税等調整額 | △9 | 11 |
| 四半期純利益 | 60 | 127 |

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 当第2四半期累計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで) | 前第2四半期累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで) |
|---------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 232 | 566 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △22 | △91 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △247 | △502 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △0 | △0 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △38 | △27 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 817 | 784 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 779 | 757 |

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

新商品紹介

エスストック
S+ Stock

階段裏の有効利用から生まれた新しい収納
蹴込型収納ボックス「S+ Stock」

蹴込型収納ボックス「S+ Stock (エスストック)」

使いたい時だけさりげなく機能を生かせる、空間に自然と調和する蹴込型収納ボックス「S+ Stock」を発売いたしました。

普段使わない日用品のストック、たまに使う来客用スリッパなどを収納できます。耐荷重は10kgあり、2Lペットボトルなどの重い防災グッズも収納できます。



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当 毎年3月31日
 中間配当 毎年9月30日
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 名古屋市中区栄三丁目15番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031
(インターネット) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
ホームページURL

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

上場証券取引所 東京証券取引所・名古屋証券取引所
公告の方法 電子公告により行う
 公告掲載URL
<https://www.pronexus.co.jp/koukoku/7896/7896.html>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株式の状況 2020年9月30日現在

- ①発行可能株式総数 3,982,100株
- ②発行済株式の総数 1,557,750株
- ③株主数 1,536名

※当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。分割後の発行可能株式総数は11,946,300株、発行済株式総数は4,673,250株となります。

④大株主の状況(上位5名)

| 株主名 | 持株数 |
|------------|--------|
| 住友商事株式会社 | 304 千株 |
| 都築木材株式会社 | 236 |
| 西垣林業株式会社 | 206 |
| セブン工業社員持株会 | 49 |
| 原田義久 | 20 |

(注) 上記のほか、当社が所有している自己株式69千株があります。

ホームページおよび インスタグラムのご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、事業活動やその動向を紹介しております。当社をよりご理解いただくためにも是非アクセスしてください。また、インスタグラムを通じて多くの方々に当社の魅力を知っていただきたく、当社情報(製品・サービスや施工事例、行事・イベントなど、事業活動の全般)を積極的にお届けしております。ぜひ、フォローをお願いします。



Instagram



セブン工業

検索

<http://www.seven-gr.co.jp/>

■ 本 社 〒505-0016
 岐阜県美濃加茂市牧野1006番地
 電話 (0574) 28-7800 (代表)



見やすいユニバーサルデザイン
 フォントを採用しています。

